



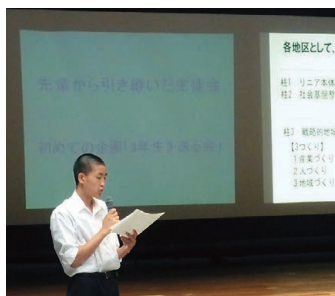
発行所 飯田市松尾公民館 編集人 松尾公民館広報委員会 印刷：龍共印刷(株)

創作児童劇「松尾山の宝」を見て 松尾村歌を語る



市政懇談会 満席の会場で行われる

7月19日公民館で市政懇談会が開催され、147人の参加で会場は満席となった。まちづくり委員会宮下吉彰会長のあいさつに続き、市政経営の方向と課題について、緑ヶ丘中学校生徒らによる意見発表が行われた。生徒会副会長の太君は、生徒会活動について、奉仕活動について、地域活性化、地域人材の育成などにふれて話した。最後にまちづくり委員会から、今後の課題提起、一般質問の回答が行われ閉会となった。



意見発表をする大島諒太君

7月7日の午後、松尾小学校体育館において「劇『松尾山の宝』を見て松尾小の校歌と松尾村歌を語る会」が行われた。初めに松尾小学校6年1組の児童による創作劇「松尾山の宝」が発表された。これは、昨年、松尾小学校創立140周年を記念して創作し、伊那谷文化芸術祭での発表が好評だったため、素晴らしい劇を松尾の住民が見なければもったいないと、子供たちに再上演を依頼して実現した。「松尾山の宝」は、きもだめしをしてきた児童が、140年前にタイムスリップして松尾小の歴史を紹介するストーリー。学校目標の「まけるな」の由来、三代にわたるオオサンショウウオの歴史、「信濃の国」を作詞した浅井淵に依頼して作られた校歌、昭和6年の悲劇・風越プール遭難事故と六地蔵の話、現在の校舎の建築の様子、そして松尾まちづくり委員会の支援によって新しくできた土俵など計8つがあげられた。

伊那谷芸術祭の発表後、松尾小全校児童の前で発表し、今回が3回目の披露。熱演した6年1組の児童32人らの回答が行われ閉会となった。

は、校歌を高らかに歌い、この日参加した150人から盛大な拍手を浴びていた。この後「松尾村歌を語る会」が行われ、信濃の国の作詞・作曲と同じ浅井淵、北村季晴氏による「松尾村歌」を歌った。「信濃の国」は県が一つになる歌。松尾村歌は松尾が一つになる歌と主催した秦野善彦会長は語った。



思わず駆け寄り子供たち

今年もフェスタの夏が来た!!

8月6日から11日にかけて「飯田人形劇フェスタ2013」が開かれた。今年15周年、カーニバルから通算35年という節目を記念し「アジア人形劇フェスタイバル」を併催。アジア5カ国から11劇団が参加した。開催に先立ち7月26日松尾公民館を会場にプレフェスタが行われた。10日には上溝集会所で「人形劇団おまけのおまけ」に

期間中では8月9日に「人形いれぶん」による「みてても、いい？」とラオスの「劇団カオニヤオ」による「ラオスのオブジェクトシスター」が公民館で行われ、スタンプ合わせて約250人が集まった。ラオスには、すべての道具に精霊が宿っているという考え方があり、劇中の道具が意思を持って動いているような独特の表現方法や音楽に、引きこまれて舞台に駆け寄り子供たちの姿が見られた。

よる「くじらやま・花さき山」うさぎとかめパートII」に63人が来場した。同じ日、新井コミュニティ消防センターでは「手風琴」の「ふしぎな木」と「劇団月見うどん」による「ソメコとオニさんちゃんどんすけ」が、毛賀区民会館では「西川禎一おひとり座」の「ねずみのすもう」「へっこきじつさま」が上演された。11日には清水コミュニティ消防センターで「人形げきやおたこ組」による「3Dの子ブタ」と併演小作品「緑ヶ丘中学校みどり座」の「眠れる森の美女」が上演され、100人が人形劇を楽しんだ。みどり座部長の木下愛奈さんは「大体はうまくできた。朝と放課後、夏休みには毎日朝から午後まで練習した成果が出たと思う」と語った。



「花さき山」の一場面(上溝地区)



自分の誇れるところを伝えたい

人物さんぼみ

104

明 秦野善彦さん

「松尾村歌を語る会」を立ち上げた明区の秦野善彦さん(73歳)は松尾史学会の会長になって今年で4年目となります。幼い頃から祖父が語る話を聞いていたうちに、松尾の歴史に魅力を感じていった

と語ります。「それは、何年に何があったというような学校の授業とは違っていました。今日は山へ行ったらにゅうどうに会ったとか、まことしやかに言うものだから疑心がありながらも信じましたね。当時は人々の心に余裕があったんだと思います。紙の技術や畜産、先駆けとなった成年式や松尾小学校など、松尾の人々には先見の明があることなど、地域の中で学ぶことが多かったですね」

松風

世の中、いろいろなマニアがいるものである。ネットの投稿サイトには各地で収録した時報がアップされている

Table with 2 columns: Category and Value. 松尾の人口: 男子 6,084人, 女子 6,888人, 計 12,972人. 世帯数 4,779世帯. 8月末現在

▼飯田市の防災行政無線の時報は、現在、正午に「飯田市歌」、午後6時に「家路」が使われている。6時には松尾小学校も「七つの子」をかけている。かつて火の見櫓のスピーカーで朝夕「松尾村歌」が鳴っていた時代があり、他所から越して来た人も何の曲とは知らずに聴き覚えたものだ▼ところで公民館ロビー事務室入り口の上には何があるか？ 実は筆者も「松尾村歌」の扁額が掲げられていることについて先日気がついた。改めて4番まである歌詞を読んでみる。いささか難しい。が、県歌「信濃の国」と同じ作詞・作曲コンビだけに、軽快な曲が付けば俄然親しみやすくなる▼近年、帰属意識と連帯感を高めようと社歌や市町村歌、いわゆるコミュニティソングを見直す動きがある。松尾でも有志による「松尾村歌を語る会」が発足し、歌碑の建立を目指している。先頃の市政懇談会で「村歌」が斉唱されるなど、気運は盛り上がりつつある▼今、松尾小学校では4年生が長野社会見学に向けて「信濃の国」を、6年生が都市連合音楽会に向けて「下伊那の歌」を習うものの、「村歌」に触れる機会はないという。子供たちにとって「村歌」が、原風景ならぬ原音楽となる術はないだろうか。

寺所区 熱～い暑い草野球 第8回松尾地区野球大会に参加

8月11日松尾公民館後援の松尾地区野球大会が行われ、寺所区も30〜40歳代の夜間ソフトボールチーム「ガッツ寺所」を軸に参加、8チームでのトーナメントとなった。小学校のグラウンドは、気温36度を超える猛暑のため砂漠状態、皆ベンチスタートを希望するが、その願いは汲み取らずグラウンドに立った。いざ試合が始まると経験者は経験者らしく華麗なプレーで、素人は珍プレーとベンチからのキツイ応援で場を盛り上げた。寺所区は久井区と接戦を繰



広げ逆転勝利して勝ち進んだ。城区には先制したが、次々と出るピッチャーを打ち崩せず逆転負け。悔しさはあるものの暑さから逃れられる安堵感もあった。今日を振り返って、いつもの「つけぎや」で慰労会。皆ビールが飲めて飲めて、体にスポンジのように入っていった。

明区 焼きそば最高!



7月28日明公園で地区児童会恒例の夏のお楽しみ会が行われた。今年は「夏祭り」ということで、かき氷、焼きそば、金魚すくい、スイカ割り、ゲーム等盛りだくさんの内容で、6年生児童、保護者役員たちの準備のいかにもあり、1年生から楽しめる会となった。30度を超える暑さの中、かき氷の前には行列ができて、何杯もおかわりをする子供の姿も見られた。スイカ割りでは、周りの子供たちの

声を頼りに、目隠しをした子供が思いっきり棒を振る姿もあり、笑いあり拍手あり……最後には全員でスイカをおなかいっぱい食べて満足そうな顔が多く見られた。副地区長の山田拓海君は「準備は大変だったけれど、みんなが楽しんでくれて、夏休みの思い出ができてよかった」と話していた。

代田区 納涼祭

代田区恒例の夏祭りが7月28日代田公民館にて行われた。

を称えた。催し物は、特設ステージにてカラオケ大会、タヒチアンダンス、民謡踊り、ギター演奏。我こそは歌に自信ありとカラオケで盛り上がり、まさにここは南国か!と思わせる華麗な衣装のタヒチアンダンスにより、一気に会場が盛り上がり、松尾サイエンスの会員とバルーンスライム作りを体験し、夕方にはきもだめし、最後はナイヤガラ花火で幕を閉じた。



ラブの演奏

清水区 足の裏お元気ですか?

7月20日保健推進員会主催の足裏についての健康教室が、清水コミュニティセンターで開催された。最初に牧内隆雄講師より参加者12人全員の足裏測定が行われた。その後プリントアウトした足裏の形を各自見ながら、その形状から予想される腰痛や膝痛などの症状の説明を受けた。牧内講師は「これらの症状は、間違った靴の履き方による影響が大きい。ドイツでは小学校低学年時に、正しい靴の履き方を徹底的に教育しているが、日本ではそれが無い。皆さんに正しい靴の履き方の実技指導をしますので、家族にも教えて習慣付けしてください」と話し、参加者は靴の正しい履き方の実技指



靴の履き方の実技指導

導を受けた。最後に、足裏や指・ふくらはぎの日常のケアの方法を教わり、終了した。この健康教室は、保健推進員会が毎年テーマを決め実施しており、7月は3日の久井区から始まり30日の常盤台区まで7地区で開催された。各地区共15人前後の参加者で、参加者は健康への意識が高く、熱心に聴講していた。

のスケッチ

新井区 納涼祭



金魚さん やあ〜い

お盆の15日新井区恒例の納涼祭が行われた。連日始まるような暑さだったが、この日は晩方になると嬉々とした子供たちのみならず、区民総出に近いにぎわいとなった。今村健区長・伊野勇分館長のあいさつ後乾杯で一気ヒートアップ。松流囃子・菊美会の踊り、あいさつグループの南京玉すだれと踊りが続き、機織りご機嫌の観衆からやんやの声援を受けていた。隣では屋台店のかき氷・焼きそばおたぐり・フランクフルト

ソーセイジに行列ができ、缶ビールは飛ぶように売れた。子供たちは金魚すくいと手持ち花火に興じ、背景の阿島の花火とコラボしていた。祭りの締めくくりはビンゴゲーム。360用意したシートが40枚しか残らなかつたことから参加者の多さに役員一同大感激だった。「伍長様始め裏方をお勤めいただいた皆さまのお蔭で、よき夏の日の思い出が出来ました」と伊野分館長は感謝の言葉を述べた。

水城区 ホタルが飛び交うのを願って



7月7日の水辺等美化活動日に、水城地区で最も大きな水路である、中溝井の清掃を行った。昨年までは、担当伍組のみで行っていた清掃だが、本年度は水城区の取り組みとして実施した。当初は、水路内のものを全てを撤去する計画だったが、希少な動植物も生息していることが分かり、水路内に残すものを撤去するものを見直し、区長以下

- 総勢19名にて実施した。
- *水路に残したものをミゾソバ、セリ
 - *カワニナ、シジミ、カニ、小魚類、ドジョウ
 - *水路から撤去したものは、雑草、外来種植物
 - *木片、ビニール等のゴミ類
 - *アメリカザリガニ
- 近い将来、蛍が飛び交うのを願って、中溝井の手入れを計画している。

毛賀区 小さな消防士登場

8月15日毎年恒例の夏祭りが毛賀神社にて催された。午後3時、合図の花火が打ち上げられ、伊原公彦分館長による開始宣言、小本曾博人区長のあいさつを皮切

た。普段では体験できないため、多くの子供たちが列を作った。本物の消防士さながらに、ヘルメット・防火服を着込んで「気分は最高!」。「放水開始」の号令とともに、ホースに水が勢いよく押し込まれると、



松尾図書館
(公民館2階)
●開館日●
水曜 午後1時〜午後5時
土曜 午前10時〜午後5時
日曜 午後1時〜午後5時
本のクエストも受け付けています。

公民館の主な行事予定 (10月〜12月)

- 【10月】6日(日)7地区合同女性バレーボール大会
- 13日(日)松尾地区市民運動会
- 20日(日)まけるな農園秋の収穫祭
- 【11月】3日(日)松尾バレーボール連盟後期大会
- 9日(土)松尾サイエンススクール
- 10日(日)飯田市女性バレーボール大会
- 24日(日)松尾キッズ・ボール講習会
- 【12月】8日(日)第11回松尾踊ってみよう会
- 14日(土)松尾サイエンススクール

手作り電池で大実験! (水城区)

松尾サイエンス 出張サイエンス大好評!

夏休みを利用して、各地の要請を受けた松尾サイエンスが出張サイエンスを行った。7月27日八幡町区では「ブラカッパの七変化」と「電気パンを作ろう」に親子50人が参加し、出来上がったプリンゴまを夢中で回したり焼いたパンを食べたりして楽しんだ。

7月28日水城区夏休み子供講座では発電実験と分光器作製に30人が参加。代田区では空気砲によるサイエンスショーとバルーンスライム作りが行われ、子供会90人が参加した。

上溝区 親睦と交流のマレットゴルフ大会

7月21日上溝区マレットゴルフ大会は43人の若男女が参加して松尾マレットゴルフ場で開催された。小木曾貴幸分館長の「幅広い年齢層で楽しめる競技であるから、親睦を深め楽しんでほしい」とのあいさつからスタートした。松尾分館対抗大会に出場する選手の選考を兼ねているので、熟練者はハンデをもつとせず優勝を目指し、中堅者は久しぶりの競技に練習不足を悔やみながら、初心者も難しいと言いつつも楽しむことを忘れずに競技した。パー3のホールでは



目指せ ホールインワン!

ホールインワンを2人も出し、その快挙に歓声が上がった。参加者はそれぞれに熱戦を展開した。表彰式では1位から3位、ブリービー賞、当日賞、飛び賞等々多数の賞が授与され、最後まで盛り上がりを見せ、その後集会所での慰労会もあり親睦を図った。

八幡町区 蚊にも負けず

7月28日八幡町区マレットゴルフ大会は、毎年恒例の大会が行われ30人が参加した。始めに黒田誠分館長が「この大会は、分館対抗マレットゴルフ大会の選手選考を兼ねた大会です。上位を目指してがんばってください」とのあいさつ。続いてマレットのベテラン杉山勝彦さんのルール説明を聞き、3人ずつに分かれて試合が始まった。



よしっ、入るぞ!

途中、ホールインワンが出たり、何打も打ち過ぎたりとあちらこちらで、歓声と笑い声が聞かれ、和気あいあいとした中で試合が行われた。また、蚊にも悩まされ、蚊とり線香をつけてプレーする人もいた。

最後の表彰式では、ホールインワン賞やイーグル賞などいろいろな賞の発表と、賞品が渡され、盛り上がりがあった。

最高年齢の宮内弘人さん87歳は、高齢にもかかわらず4位という成績で、「今日は疲れた」と言いながらも、満足げだった。

久井区 小学生と「おじさん」たちが焼き肉で交流

久井区壮年会は8月15日開催の納涼大会会場となる久井公園のどぶ浚いと地ならしを7月28日11時より実施した。昼からは、公園で「お楽しみ会」をして小学生・保護者と合流、総勢50人近くで焼き肉大会を行った。奉仕活動でたっぶり汗をかいた大人はビールと焼酎も堪能。子供はスイカ割りも楽しみ、「おじさん」たちにスイカを分けてあげていた。大人対子供でペタンクの真剣勝負をする場面もあった。



この企画は市瀬和寛壮年會會長が「地域の実働隊である自分らが久井の子供の顔を覚えておけば、見守り活動に繋がる」と、小



写真提供：株Mプランニング

今年度の大会には、椅子のアーティストとしても知られる佐野有美さんがやって来ます。ぜひご参加ください。
 ○期日 11月2日(土)
 ○時間 午後1時～3時30分
 ○会場 緑ヶ丘中学校体育館
 ○内容 IIアトラクション、講演、大会宣言
 ○講師 II 佐野有美さん
 ○演題 II 夢や希望、あきらめない心

「夢や希望、あきらめない心」
 第5回松尾地区地域安全大会
 松尾の子どもは松尾で
 育てる住民大会
 開催のお知らせ



エコキャップを届けに来たよ!

まちづくり委員会環境衛生部が所管する新規事業として、5月からエコキャップ運動が始まりました。ペットボトルキャップを集めて回収業者に売却し、その売却代金で世界の子供たちにワクチンを届けるといった取り組みです。ご協力をお願い致します。



団地内の公園掃除

8月4日日中交流会「おしゃべりサロン」が行われた。これは、区内での日中友好を目的としたグループ活動として、2カ月に1回程度で行われている。この日の参加者はおよそ40人、団地内の公園の掃除を行ったあと、交流会として集会所で焼き肉をして親睦を図った。

常盤台区は中国帰国者が多く住み、言葉や習慣の違いが壁となっている。これらは区の行事にも支障をきたしている。2年前に、当時区長の中島策雄さんと団地に住む中国人の秦治樹さんが発起人となり、「おしゃべりサロン」を始めた。



壮年会のノリノリダンス

恒例の城区サマーフェスティバルが、7月14日に城集会所にて開催された。ここでは、納涼祭と芸能祭が行われ、延べ300人の参加者でにぎわった。庭では、焼き鳥、焼きそば等が振る舞われ、大人たちはビールを片手に舌鼓を打った。また、子供たち用に、玄關前ではかき氷、綿あめ、ポップコーン、ジュースが振る舞われた。子供たちは、冷たさを味わった後、真剣な眼差しで、「水中1円玉落としゲーム」を楽しんだ。

2階の大広間では、下井敏区長のあいさつを皮切りに、全員で城讃歌(作詞・作曲：小川康路)を斉唱し、芸能祭が始まった。松尾小1年生による「もしかめ(けん玉)から、高齢者クラブの「信濃の国」まで幅広い年齢層の出し物が繰り広げられた。ボランティアによる牛スジの煮込みや、から揚げ等の料理を味わいながら、楽しいひと時を過ごした。壮年会による「城ゴールデンボンバー」男々しくて男々しくてで会場の熱気は最高潮になりサマーフェスティバルの幕が閉じた。

常盤台区 おしゃべりサロン

いさつ、続いて昨年水泳50メートルバタフライ日本ラレーンキング1位となった代田区出身の原翔太さん(24歳)を紹介し、これまでの県記録を更新するなど、素晴らしい成績を納めてきた功績

また、駐車場には露店が軒を連ね、焼きそばやかき氷、五平餅などが売られた。今年は手打ちそばも振る舞われ好評だった。子供たちのお楽しみ会



毎年恒例のギターク

2013 夏の日の

りに祭りが始まった。壮年会・中年会による露店が軒を並べ、焼きそばやかき氷などが売られると、子供たちは小銭・金券を握りしめ、お目当ての店先に並んだ。

消防団の協力により、子供たちの放水体験が行われ、消防士の短大生による「よさこい」が披露されると見えていた



エコキャップ運動
 活動のお知らせ

